

平成 21 年度 厚生労働科学研究（指定型）に係る利益相反についての情報開示

川崎医科大学 利益相反委員会

平成 21 年 8 月 27 日

研究課題名：経口糖尿病薬の臨床評価ガイドラインの策定及びその運用に関する研究

研究代表者：内科学（内分泌・糖尿病）教授 加来 浩平

川崎医科大学内科学（内分泌・糖尿病）教室では「産学連携活動に係る受け入れ額」として複数の企業からの奨学寄附金があるが、これらは当学園の研究助成課で管理されている。本研究の利害関係については「川崎医科大学利益相反マネジメントポリシー」にそって「川崎医科大学利益相反委員会」へ申告して審査されている。この研究に係る利益相反についての情報を開示するために、平成 20 年度における奨学寄附金の提供団体を以下に示す。

企業名：アステラス製薬株式会社、万有製薬株式会社、タケダ薬品工業株式会社、日本ベーリンガー株式会社、第一三共株式会社、サノフィアベンティス株式会社、三和化学株式会社、興和創薬株式会社。